

2027年度

学 生 募 集 要 項

尾道市立大学大学院（修士課程）

日本文学研究科

尾道市立大学

尾道市立大学大学院 日本文学研究科

教育理念・目的

日本文学研究科では、日本の文学と言語文化を総合的に捉えつつ、日本文学・日本語学・漢文学の発展的研究に取り組むことで、日本語、日本文学、日本の芸術文化を深く理解します。このような教育理念のもと、社会活動や文化活動において指導的役割を果たし、社会の発展に寄与する人材を養成することを目的としています。

1. 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

日本文学研究科は、以下の要件を満たす学生に対して「修士（日本文学）」を授与します。

- ① 所定の期間在学し、修了に必要な授業科目を履修して基準となる単位数（30単位）を修得した人
- ② 日本文学・日本語学・漢文学等に関する深い学識と高度な研究方法を修得した人
- ③ テキストの精読や実地調査と関係資料の精査をもとに、学術上有意の修士論文を提出し、その審査と口頭試問に合格した人（文芸創作もこれに準じる）
- ④ 豊かな人間性と高い倫理観をもち、本研究科で身につけた学識と研究能力を生かして積極的に社会に貢献できる人

具体的には次の学修成果を達成した者に対して修士の学位を授与します。

（知識・技能）

DP1；日本の文学と言語文化を総合的に捉える視点と、日本文学・日本語学・漢文学等に関する深い学識と高度な研究方法を修得し、周辺領域の考え方や理論と関連付けながらそれらを活用することができる。

（思考力・判断力・表現力）

DP2；テキストの精読や実地調査と関係資料の精査をもとに、論理的に思考し、言語文化の探究と創造に取り組むことができる。

（主体性）

DP3；豊かな人間性と幅広い視野をもち、高度な言語運用能力を発揮して他者と議論や対話を行い、探究・創造の成果を社会に発信することができる。

2. 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

学位授与の方針に掲げる学修成果を達成できるように、日本文学研究科では以下の方針に基づいてカリキュラム（教育課程）を編成しています。

- ① 日本の文学と言語文化を総合的に捉える視点を養うため、総合科目「日本文学・言語文化総論」を配置します。[DP1]
- ② 日本文学、日本語学、漢文学に関する深い学識と高度な研究方法を修得するために、基幹科目として日本古典文学、日本近代文学、日本語学、漢文学のそれぞれに特講と演習を配置します。[DP1][DP2]
- ③ テキストの精読や実地調査と関係資料の精査をもとに、論理的に思考し、言語文化の探究と創造に取り組むため、専門科目として、日本古典文学、近代文学、日本語学に加え、周辺領域である、言語学、国語教育学、米文学、比較文学、地域文学、文芸創作の特論を配置します。[DP1][DP2]
- ④ 周辺領域の考え方や理論を関連付け、より広範な社会との連携のなかで言語文化の探究と創造に取り組むために、関連科目として、語学実践、英語学、哲学・倫理学の特論を配置します。[DP2][DP3]
- ⑤ 言語文化の探究と創造の成果として、研究指導（論文指導）を配置し、修士論文を課します。[DP1]
- ⑥ 豊かな人間性と幅広い視野をもち、高度な言語運用能力を発揮して他者と議論や対話を行うための少人数双方向教育を実施します。[DP2][DP3]

3. 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

日本文学研究科の教育の理念・目的に基づいた、ディプロマ・ポリシーを満たし、そのためのカリキュラムに適応できる能力・適性をもった人として、日本文学研究科は以下のような人を求めています。

- ① 大学の学士課程等において日本文学・日本語学・漢文学に関する基礎的な知識と研究方法を修得している人
- ② 自分自身の研究テーマをもち、それを自らの力で探究していこうという意志のある人
- ③ 本研究科での高度な学びを通じて、社会や文化の進展に貢献していこうという意志のある人

入学後の学びに必要な能力や適性等

日本文学研究科の教育課程に適応するために必要な入学時の能力や適性等は以下の通りです。

（知識・技能）

- ① 日本語学、日本文学（古典文学、近現代文学）、漢文学に関する基本的な知識と研究方法を修得し、周辺領域の考え方や理論と関連付けながら、それらを活用することができる。[一般における専門科目試験][社会人および外国人留学生の小論文]

（思考力・判断力・表現力）

- ② 自らの力でテキストの精読や実地調査を行い、論点を定めた分析や表現の探究に計画的に取り組むことができる。[一般における面接試験（学修調書、卒業論文要旨等を含む）][社会人および外国人留学生における小論文試験、面接試験（学修調書、卒業論文要旨等を含む）]

（主体性）

- ③ 豊かな人間性と幅広い視野を持ち、高度な言語運用能力を発揮して他者と議論や対話を行うことができる。[一般における面接試験（学修調書、卒業論文要旨等を含む）][社会人および外国人留学生における小論文試験、面接試験（学修調書、卒業論文要旨等を含む）・日本留学試験「日本語」]

[] 内は対応する入学者選抜における評価を示します。

目 次

I	日本文学研究科の概要	1
II	募集人員	1
III	出願資格	1
IV	出願手続	2
	1 出願書類および入学検定料	2
	2 出願方法	3
	3 事前出願資格審査	3
	4 障害等のある入学志願者との事前相談	3
	5 出願に関するその他の事項	4
V	選抜の方法	4
VI	選抜試験	5
	(1) 試験日および試験会場	5
	(2) 学力試験時間割と内容	5
	(3) 受験上の注意事項	5
VII	合格発表	6
VIII	入学手続	6
IX	開設科目	8
X	尾道市立大学へのアクセス	9
XI	研究指導スケジュールと研究指導概要	10

I 日本文学研究科の概要

尾道市は豊かな自然と地勢的特色、それがもたらす経済的発展のなかで、文学・芸術の街として栄えてきました。この風土と歴史を背景に設置された尾道市立大学大学院日本文学研究科は、日本語と日本語によって形成される日本文学、日本的思考、日本文化を軸として、これに連なる関連領域を総合的に探究することを目指しています。

言語文化、言語芸術に対する深い理解と幅広い視野、それを基盤とする国際的な感覚や異文化を共有する教養を身に付け、豊かな知性や優れた徳性によって、社会活動や文化活動に指導的役割を果たす人材を養成します。

II 募集人員

日本文学研究科（修士課程）入学生を次のように募集します。

研 究 科 名	専 攻 名	募集人員	備 考
日本文学研究科	日本文学専攻	6 名	募集人員は、社会人および外国人留学生を含む。

※入学生の募集は、前期日程・後期日程と2回行い、あわせて6名を募集人員とします。

III 出 願 資 格

1 次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 学校教育法(昭和22年法律第26号)第83条に定める大学を卒業した者および2027年3月卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により独立行政法人大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者および短期大学または高等専門学校の専攻科を2027年3月までに修了見込みの者で、同年3月同学位を取得見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者および2027年3月までに修了見込みの者
- (4) 文部科学大臣の指定した者(昭和28年2月7日文部省告示第5号)
- (5) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、入学時において22歳に達する者（事前出願資格審査対象 注を参照）
(短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者その他の教育施設の修了者等)
- (6) その他本学大学院において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者（事前出願資格審査対象 注を参照）

2 出願における社会人の定義

- (1) 2027年3月31日現在において、大学卒業後2年以上経過している者および出願資格1の(4)に該当することとなった後2年以上経過している者
- (2) 現職教員(教諭一種免許状取得者または2年以上の経験を有する者)
- (3) その他本学大学院において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者（事前出願資格審査対象 注を参照）

3 外国人留学生の定義

日本国籍および日本における永住資格を有しない者で、次の各号のいずれかに該当し、日本語能力試験の試験成績においてB2以上と参考表示されていて、留学を継続するための経費支弁能力を有する者

- (1) 出願資格1の(3)に該当する者で、独立行政法人日本学生支援機構が実施する2026年度（令和8年度）日本留学試験において「日本語」を受験している者
- (2) 日本において外国人留学生として大学を卒業した者および2027年3月卒業見込みの者

- (3) その他本学大学院において、上記(1)、(2)と同等以上の学力があると認めた者（事前出願資格審査対象 注を参照）

注) 出願資格1の(5)(6)、2の(3)、3の(3)に該当する者は、事前に出願資格の審査を行う必要がありますので、尾道市立大学大学院事務局に問い合わせてください（3ページ参照）。

事前出願資格審査の受付期間

前期日程 2026年 7月24日（金）から 7月31日（金）まで

後期日程 2026年12月 1日（火）から12月 8日（火）まで

Ⅳ 出 願 手 続

1 出願書類および入学検定料

書類等の名称	提出該当者	摘 要
①入学試験志願票	全 員	本学所定の用紙に記入してください。社会人および外国人留学生は裏面の履歴書も記入してください。
②受験票・写真票 (兼領収書)	全 員	本学所定の用紙に記入してください。受験票と写真票の写真は、必ず同じものにしてください。
③卒業(見込)証明書	出願資格1の(1) (3)(4)に該当する者	出身大学長または学部長が作成したものを提出してください。
④学位授与証明書	出願資格1の(2) に該当する者	大学評価・学位授与機構が作成したものを提出してください（欄外の注を参照）。
⑤成績証明書	全 員	出身大学（長）または学部（長）が作成し、厳封したものを提出してください。
⑥学修調書	全 員	本学所定の用紙（様式1）に記入し、提出してください。
⑦卒業論文（またはこれに代わるもの）の要旨	全 員	本学所定の用紙（様式2）に記入し、提出してください。
⑧日本語能力試験の成績証明書	出願資格3に 該当する者	成績証明書を提出してください。
⑨日本留学試験「日本語」 の成績確認書	出願資格3の(1) に該当する者	2026年度（令和8年度）日本留学試験の成績確認書を提出してください。
⑩住民票の写し等	外国人留学生	日本に在住する者は、市区町村発行の「住民票の写し」（在留資格、在留期間明記のもの）を、それ以外の者は旅券の写しを提出してください。 ※「住民票の写し」は交付された原本を提出してください。
⑪入学検定料 30,000円 (外国人留学生は、 15,000円)	全 員	郵便局で30,000円分の『普通為替証書』の発行を受け、入学試験志願票その他の提出書類と一緒に提出してください。なお、「受取人指定欄」および受取人の「ところ」、「名前印」の箇所には、何も記入しないでください。
⑫返信用封筒 (受験票等返送用)	全 員	本学所定の封筒に志願者の郵便番号・住所・氏名を明記し、定形50g+速達分の切手を貼ったもの。

注1) 出願資格1の(2)に該当する者のうち、既に学位を授与された者にあつては学位記の写し、授与見込みの者にあつては在籍する短期大学の専攻科または高等専門学校専攻科の修了見込証明書および学位を授与する予定である旨の短期大学長または高等専門学校長の証明書を提出してください。

2) 外国語で作成された書類には、必ず日本語訳を添付してください。

3) 学修調書等出願書類の内容は面接試験の中で点数化します。

2 出願方法

出願は所定の出願用封筒を用い、「簡易書留速達」扱いの郵送または直接持参により提出してください。直接持参の場合の受付時間は、平日の午前9時から午後5時までとします。

(1) 願書受付期間および提出先

受付期間

前期日程 2026年 8月31日(月) ～ 9月 4日(金)(必着)

後期日程 2027年 1月 4日(月) ～ 1月12日(火)(必着)

提出先

〒722-8506

広島県尾道市久山田町1600番地2

尾道市立大学大学院 事務局

電話 (0848) 22-8311 (代)

(0848) 22-8381 (直)

(2) 留意事項

- ① 出願手続が完了した者の出願書類および入学検定料は返還できません。
- ② 社会人および現職教員等にあつては、入学手続の際、就学許可書(様式4)を提出しなければなりません。
- ③ 出願書類に不備がある場合は、受理できません。
- ④ 出願手続が完了した者へは、受験番号を記載した受験票を速達で送付します。受験票が届かない場合は、尾道市立大学大学院事務局に問い合わせてください。

3 事前出願資格審査

出願資格1の(5)(6)、2の(3)、3の(3)に該当する者のみ必要です(1～2ページ参照)。

(1) 事前出願資格審査の内容

提出書類により審査を行います。

(2) 入学資格確認のための提出書類

- ① 入学試験志願票(本学所定用紙)
裏面の履歴書も記入してください。
- ② 入学試験資格審査申請書(様式3)
- ③ 最終卒業学校の卒業(見込)証明書と成績証明書
- ④ 学習歴の証明書(卒業(修了)証明書、成績証明書)
審査のため、高等学校卒業後のすべての学習歴(短期大学、専門学校等)の証明書
- ⑤ 実務・活動歴、資格等を証明する書類
勤務先の長が証明した、研究内容・従事期間が明記され、研究内容が客観的に判断できる証明等。種類、様式は任意です。

4 障害等のある入学志願者との事前相談

受験上特別な措置および修学上特別な配慮を必要とする者は、尾道市立大学大学院事務局へ出願の前に相談してください。

事前相談の受付期限

前期日程 2026年 8月 7日(金) まで

後期日程 2026年12月 4日(金) まで

なお、相談の内容によっては対応に時間を要することもありますので、できるだけ早い時期に相談してください。

5 出願に関するその他の事項

(1) 出願について不明な点は、尾道市立大学大学院事務局に照会してください。

電話 (0848) 22-8311 (代)

(0848) 22-8381 (直)

(2) 募集要項を請求するときは、表に「日本文学研究科 大学院学生募集要項請求」と朱書きし、返信用封筒(角形2号、郵便番号・住所・氏名を明記し、定型外・規格内500g(速達の場合は+相当料金)分の切手を貼ったもの)を同封し、請求してください。また、任意の紙に、「氏名」「連絡先(電話番号)」を記入して、返信用封筒に同封してください。

(3) 出願書類や入学手続に関して本学が知り得た個人情報および入学試験の成績や結果に関する個人情報は、「尾道市立大学における個人情報の取扱い及び管理に関する規程」に基づき適正な管理を行います。これらの個人情報は、入学者選抜業務のほか教育的な目的や学生生活に関連して利用する場合があります。

V 選抜の方法

前期日程、後期日程とも筆記試験、面接試験の結果および出願書類を総合して選考を行います。合否判定は総合成績の6割を基準とします。

出願区分	試 験 科 目 等		配 点
一 般	専門科目試験	専攻分野問題と日本語学・古典文学・近現代文学・漢文学の基礎問題を出題します。*	100
	面 接 試 験	「学修調書」等について行います。	100
社 会 人 お よ び 外国人留学生	小論文試験	小論文。	100
	面 接 試 験	「学修調書」等について行います。	100

*基礎問題は、本学研究科における必修科目の受講の前提となる基礎的な知識・技能を習得しているかを確認するためのもので、日本語学・古典文学・近現代文学・漢文学の各分野から出題します。それぞれの出題内容例は、以下の通りです。

- ・日本語学…日本語学(史)の知識・日本語学(史)に関する文献資料の読解、現代日本語のうちデータに基づく分野(方言・社会言語学)の基礎知識・概念、簡単なデータの分析・処理
- ・古典文学…上代から近世までの日本文学史に関する知識、原典の基礎的な読解
- ・近現代文学…近現代文学史に関する知識、近現代文学研究史および研究方法論に関する知識
- ・漢文学…漢文資料(白文)の読解

専攻分野問題は、専攻分野の研究活動を行うために必要な知識・技能を習得しているかを確認するためのものです。志願票の希望専攻分野を記載する欄に記入してください。

専攻分野問題および日本語学・古典文学・近現代文学・漢文学各分野の基礎問題は、それぞれの分野において一定の合格基準を設けています。

※過去問題は、事務局にて閲覧することが可能です。

※社会状況によって上記試験の実施が困難な場合、試験の実施形態を変更することがあります。その場合は、ホームページでお知らせします。

Ⅵ 選抜試験

(1) 試験日および試験会場

試 験 日		試 験 会 場
前 期 日 程	2026 年 9 月 13 日 (日)	尾道市立大学 (案内図 9 ページ参照)
後 期 日 程	2027 年 1 月 31 日 (日)	

(2) 学力試験時間割と内容

前期日程・後期日程とも以下のとおりです。

出 願 区 分	検 査 内 容	試験開始時間等
一 般 (集合時間 9 : 40)	専門科目試験 (120 分)	10 : 00 ~ 12 : 00
	面接試験	13 : 00 ~
社会人および 外国人留学生 (集合時間 9 : 40)	小論文試験 (120 分)	10 : 00 ~ 12 : 00
	面接試験	13 : 00 ~

(3) 受験上の注意事項

- ① 筆記試験開始後は、30 分以内の遅刻に限り受験を認めます。ただし、時間の延長は行いません。
- ② 「受験票」を忘れないように必ず持参してください。
- ③ 筆記試験時間中に机の上に置いてよいものは、筆記用具 (黒の鉛筆またはシャープペンシル)、消しゴム、鉛筆削り、時計 (計時機能のみのもの)、眼鏡、ハンカチ、目薬、ティッシュペーパー (袋または箱から中身だけ取り出したもの) です。
- ④ 試験会場およびその付近に食堂はありませんので、必ず昼食を持参してください。

VII 合格発表

前期日程 2026年 9月18日(金) 午前10時
後期日程 2027年 2月 5日(金) 午前10時

大学の掲示板に合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者には合格通知書を郵送します。
ホームページ (<https://www.onomichi-u.ac.jp/>) による合格発表も行いますが、あくまで補助的な手段ですので、大学から郵送される合格通知書を必ず確認してください。
電話による可否の問い合わせには、一切応じません。

VIII 入学手続

(1) 入学手続期間

前期日程 2026年 9月24日(木) ～ 10月 9日(金) 午後5時まで(必着)
後期日程 2027年 2月 8日(月) ～ 2月26日(金) 午後5時まで(必着)

(2) 入学手続の方法

- ① 合格通知書とともに送付する「入学手続要領」の説明を参照してください。
- ② 手続期間内に入学手続書類の提出と入学料の納入が行われることで、入学手続が完了します。
- ③ 入学料は合格通知書とともに送付する納付書に必要事項を記入し、手続期間内に最寄りの金融機関の窓口で振り込んでください。
- ④ 書類の提出は、郵送または直接持参によって行ってください。なお、直接持参の場合の受付時間は平日の午前9時から午後5時までとします。
- ⑤ 入学手続先 〒722-8506
広島県尾道市久山田町1600番地2
尾道市立大学大学院 事務局
電話(0848)22-8311(代)
電話(0848)22-8381(直)
- ⑥ 入学手続を完了した者には、入学手続期間終了後に、入学許可書を送付します。

(3) 入学手続時納付金

区 分	入 学 料	対 象
市 内	282,000円	次のいずれかが尾道市内に、入学月の初日の1年以上前から引き続き住民登録をしている者 ・ 本人 ・ 本人の配偶者または1親等の親族
市 外	423,000円	上記以外の者

*外国人留学生の入学料は、市外の金額の1/2に減額されます。

*入学料は前年度の金額です。

*本学学部生(卒業生を含む。)が入学する場合の入学手続時納付金については、上記入学料から282,000円を控除した額とします。

(4) 入学手続に必要な書類

- ① 誓約書
- ② 卒業証明書または修了証明書
入学手続時に卒業見込みまたは修了見込みの者は、2027年3月26日（金）までに提出してください。
- ③ 住民票の写し（交付された原本）
入学手続時納付金の区分において、市内に該当する者のみ提出してください。
- ④ 就学許可書（様式4）
学校・官公庁・会社等に在職中の者のみ、提出してください。

(5) 入学手続上の注意事項

- ① 必要な手続を期間内に行わない場合には、本学への入学を辞退したものとして取扱います。
- ② いったん受理した入学手続書類および納付金は、いかなる理由があっても返還できません。
- ③ 入学手続を完了した後、入学を辞退する者は、入学辞退届（様式自由。辞退理由を明記の上、署名、捺印のこと）を尾道市立大学大学院事務局へ提出してください。

(6) 諸経費その他

入学後に必要となる経費

項 目	金 額	備 考
①授 業 料	535,800円 [年 額]	4月、10月に分けて納入
②学生教育研究 災害傷害保険料	2,430円 [2年分]	4月に納入
③後 援 会 入 会 金	10,000円	4月に納入
④後 援 会 費	50,000円 [年 額]	

*外国人留学生の授業料、後援会入会金、後援会費は上記の金額の1/2に減額されます。

*以上は前年度の金額です。

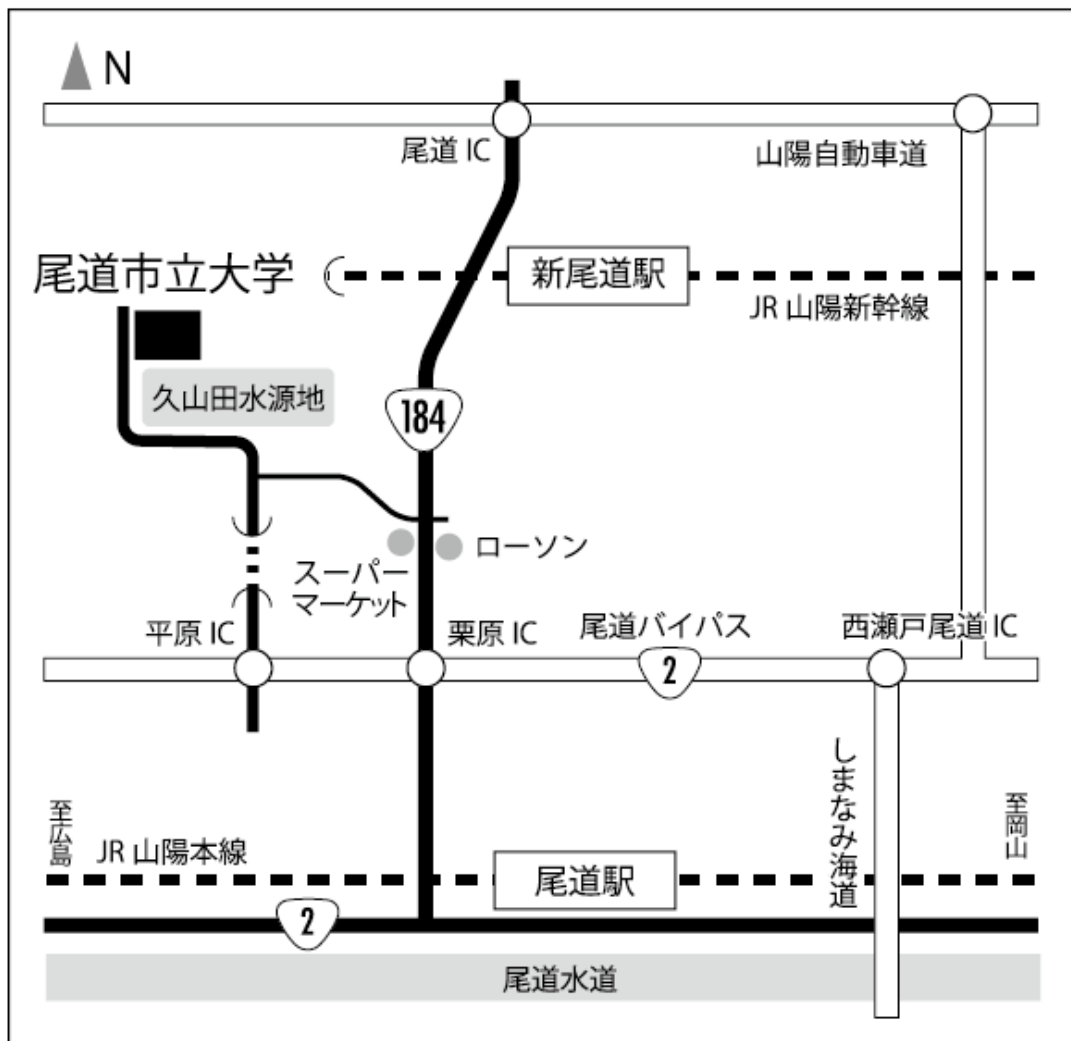
*日本文学研究科では、ノート型パソコンが必携となります。詳細は入学前にお知らせしますが、場合には新たに購入する必要があります。（前年度大学幹旋ノート型パソコンは13万円程度）

Ⅸ 開設科目

(2027年度 開講予定科目)

科目分類	授業科目	必修・選択	単位	授業概要
総合科目	日本文学・言語文化総論 灰谷 謙二、鷹橋 明久、 柴 市郎、藤井 佐美、 藤川 功和、小畑 拓也、 高島 彬	必修	2	オムニバスによる、日本文学・言語文化の総論的科目
基幹科目	日本古典文学特講 藤川 功和	必修	2	日本中世文学について、近年の研究成果を取り込みながら、読みの再構築を行う。
	日本古典文学演習 藤川 功和	必修	2	後嵯峨院時代の歌合を、原文をもとに精読する。
	日本近代文学特講 柴 市郎	必修	2	日本近代文学について、歴史的・文学史的背景を考慮しつつ、散文を中心に考察する。
	日本近代文学演習 柴 市郎	必修	2	日本近代文学の代表的作家・夏目漱石の作品について、分析・考察を行う。
	日本語学特講 灰谷 謙二	必修	2	日本語学の新しい成果を通して、その本質的課題を探究する。
	日本語学演習 灰谷 謙二	必修	2	音声言語における方言使用の意味と運用の方策について考察する。
	漢文学特講 鷹橋 明久	必修	2	魏晉交代期、所謂「竹林七賢」と呼ばれた人々の詩文を分析考察する。
	漢文学演習 鷹橋 明久	必修	2	中国の南北朝期の仏教文化について、当時の仏教説話をもとに考察していく。
専門科目	日本古典文学特論Ⅰ 宮谷 聡美	選択	2	平安時代の文学作品を講読する。
	日本古典文学特論Ⅱ 吉田 宰	選択	2	江戸時代の文学作品を講読する。
	日本近代文学特論 原 卓史	選択	2	日本近代文学について、代表的な作家、作品、メディアなどを考察する。
	日本語学特論 藤本 真理子	選択	2	古代日本語から中世日本語を中心に、日本語の歴史的変化を考察する。
	言語学特論 高島 彬	選択	2	現代言語学の理論を援用して、日本語の現象を多角的に考察する。
	国語教育学特論 山田 和大	選択	2	国語教育学の理論および実践研究について考察する。
	米文学特論 小畑 拓也	選択	2	現代アメリカ文学を中心とする、メディアを視野に入れての考察
	比較文学特論 小畑 拓也	選択	2	特定のモチーフ（表象）に関する比較文学的考察
	地域文学特論 藤井 佐美	選択	2	地域文学の発掘と分析、および民俗学的考察
	文芸創作特論 (未定)	選択	2	文章力の鍛錬を目的とした、「翻訳」および「創作」の実践
	語学実践特論 高垣 俊之	選択	2	読み・書き・発表の訓練による、英語実践能力の育成
関連科目	英語学特論 平山 直樹	選択	2	英語の歴史についての知識を深めるとともに、英語の読解力を養う。
	哲学・倫理学特論 島田 喜行	選択	2	哲学・倫理学の理論と方法について考察する。
研究指導（論文指導）Ⅰ		必修	2	修士論文作成のための助言・指導
研究指導（論文指導）Ⅱ		必修	2	

X 尾道市立大学へのアクセス



尾道市立大学への交通

J R 山陽本線尾道駅より

駅前バスターミナル（③番のりば）より「尾道市立大学」または「陽光台」行きバスで約20～40分、「尾道市立大学」下車。

JR山陽新幹線新尾道駅より

南口（③番のりば）より「尾道市立大学」または「陽光台」行きバスで約１５分、「尾道市立大学」下車。
タクシー利用で約１０分。

自家用車で送迎の場合、尾道バイパス・平原IC経由が便利です。

XI 研究指導スケジュールと研究指導概要

年次・時期	研究指導の内容	指導に対応した学生の研究活動
1 年次		
4 月	研究指導教員の確定 新入生オリエンテーション	大学院での履修全般・2 年間の修士論文執筆までのスケジュールを確認する。研究倫理について理解する。
	研究課題に関する指導	指導教員に研究課題を相談し決定する。
	「研究指導計画書」の提出	入学後 1 か月以内に研究科長へ提出する。
4-8 月		
適宜	進捗状況をふまえた研究指導	研究の進捗状況を報告し指導を受ける。
9-2 月		
適宜	進捗状況をふまえた研究指導	研究の進捗状況を報告し指導を受ける。
10 月	卒業論文・修士論文中間発表会	発表会に参加し自身の研究の課題と方向性を確認する。
11 月	学部 3 年生・大学院 1 年生の研究発表会	研究発表を行い、今後の課題を確認する。
12 月	日本文学会大会参加	学内外で広く研究の交流を行う。
2-3 月	進捗状況をふまえた研究指導	研究成果のまとめと修士論文作成の課題整理を行う。

年次・時期	研究指導の内容	指導に対応した学生の研究活動
2 年次		
4 月	在学生オリエンテーション	
	履修指導・学位論文執筆ガイダンス	2 年次の履修、修士論文執筆についてガイダンスを受ける。研究倫理について指導を受ける。
	スケジュール確認	指導教員と、研究計画を相談し決定する。
4-8 月		
適宜	進捗状況をふまえた研究指導	研究の進捗状況を報告し指導を受ける。
9-2 月		
適宜	進捗状況をふまえた研究指導	研究の進捗状況を報告し指導を受ける。
10 月	卒業論文・修士論文中間発表会	研究の方向性について、公に発表し、確認する。
	修士論文題目提出(10 月 31 日)	修士論文題目を指導教員と相談・決定し、研究科長に提出する。
11 月	学部 3 年生・大学院 1 年生の研究発表会	学内で広く研究の交流を行う。
12 月	日本文学会大会参加	学内外で広く研究の交流を行う。
1 月	修士論文提出(1 月 10 日)	修士論文を提出する。
	修士論文審査	主査 1 名(指導教員)副査 2 名による修士論文審査を受ける。
2 月	修士論文最終試験	最終試験の口述試験を受ける。
3 月	修了判定・学位(修士)授与	

* 研究指導は、指導教員を中心に適宜行います。

* 3 月学位授与のケースを示しています。

尾道市立大学大学院 事務局

〒722-8506 広島県尾道市久山田町1600番地2
TEL (0848) 22-8311 (代表)
(0848) 22-8381 (直通)
FAX (0848) 22-5460
<https://www.onomichi-u.ac.jp/>
(受付時間 平日 9:00~17:00)